

**平成25年度進行管理・評価シート**  
**高山市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）**  
（最終変更平成25年3月29日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 市独自条例の取り組み	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 スポット整備事業	.....	3
2 町並み・景観保全事業	.....	4
3 無電柱化事業 I	.....	5
4 屋台保存事業	.....	6
5 伝承芸能保存事業	.....	7
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用	.....	8
2 文化財の修理、文化財の防災	.....	9
3 文化財の保存・活用を行うための施設	.....	10
4 文化財の保存及び活用の普及啓発	.....	11
5 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体①	.....	12
6 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体②	.....	13
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 新聞報道 12件	.....	14
⑥その他(様式1-6)		
1 一般開放型便所改修事業	.....	15
<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)</b>	.....	16

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

計画の実施・推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	---

計画に記載している内容  
 計画推進体制として、都市整備課及び文化財課(事務局)と、既に設置されている審議組織を位置づける。計画実施体制として、各事業担当課と事務局が連携して実施する。なお、計画の実施、推進その他計画に関わる事項については、法定協議会である「高山市歴史的風致維持向上計画協議会」が総括する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市整備課と文化財課の連携の下、頻繁な打ち合わせにより事業を推進するとともに、新しく計画に追加する事業について関係部署と調整を行った。また、重要伝統的建造物群保存地区における側溝の整備等について、道路部局との連携により方針を決定した。  
 事業の進行管理・評価や計画変更の内容について、高山市歴史的風致維持向上計画協議会及び関係審議会に協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



都市整備課と文化財課の打ち合わせ状況  
(随時実施)

- 計画変更に係る関係団体への協議状況
- 高山市歴史的風致維持向上計画協議会  
各委員へ個別協議(平成26年2月25日～2月28日)
  - 高山市文化財審議会  
開催日:平成26年2月26日  
開催場所:飛騨高山まちの博物館
  - 高山市伝統的建造物群保存地区保存審議会  
文書による意見照会(平成26年2月24日付)
  - 高山市美しい景観と潤いのあるまちづくり審議会  
文書による意見照会(平成26年2月24日付)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成25年度
	現在の状況	

市独自条例の取り組み  
・市街地景観保存条例

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 市街地景観保存条例の運用により、郷土の重要な歴史的、文化的資産としての市街地景観の保存に取り組む、今後はさらに普及啓発を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市街地景観保存条例で指定する上二之町保存区域に位置する通信施設の鉄塔(高さ35m)について、城下町高山の歴史的景観に対する影響が大きいとして、市や地元の景観・町並保存会が長年にわたり事業者と改善交渉を進めてきたところ、時代とともに高まっていった景観を重視する流れの中で事業者の理解をいただき、本年度8月に撤去に関する合意がなされ、事業者が撤去工事を実施した。その他、市街地景観保存区域における住宅の新築・改修等行為の届出に対し、基準に合わない建築計画に対する指導を行った。

これらの指導に従ったことによる損失に対し補償を行った。

- 平成25年度実績
- ・損失補償件数：5件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

市街地景観保存区域の建築行為について、基準に合わない建築計画に対する補償金制度があるのみで、当初から基準に合った建築計画には助成制度がないため、伝統構法のデザイン等の一定の基準を満たす新築、増築、改築に対する新たな補助制度を創設する。

状況を示す写真や資料等

市街地景観保存条例に基づく協議により撤去された鉄塔



撤去前

撤去後



上三之町



評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
スポット整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和55年～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 市民や観光客が散策する文化財周遊ルートにまちかどスポット等を整備し、ふれあいの場を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本年度実施した整備はなかったが、平成26年度以降のスポット整備について検討を行い、その方針を決定した。中心市街地において、地域住民のコミュニティ形成の場や来訪者が散策する際の休憩スペースが不足しているため、エリア全体に休憩機能を充実させた「憩いの場」を新たに配置する。整備にあたっては、主要駐車場からの人の流れを考慮した配置により周遊性を向上させ「にぎわい」をもたらすと同時に、伝統技法や地元産の素材を活用した特色のある景観を創出する。

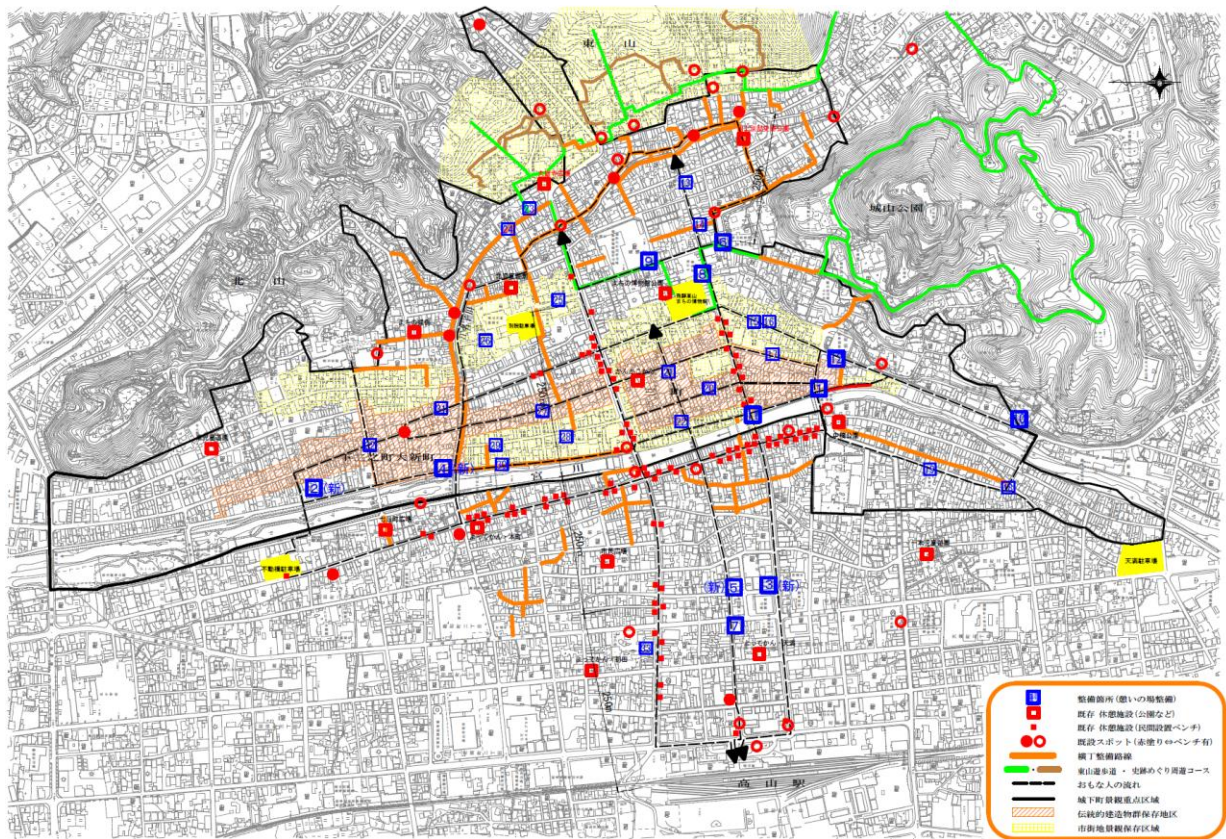
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

中心市街地において、地域住民のコミュニティ形成の場や観光客の休憩スペースが不足しているため、エリア全体に休憩機能を充実させた「憩いの場」を新たに配置する。

状況を示す写真や資料等

平成26年度以降の憩いの場配置イメージ



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

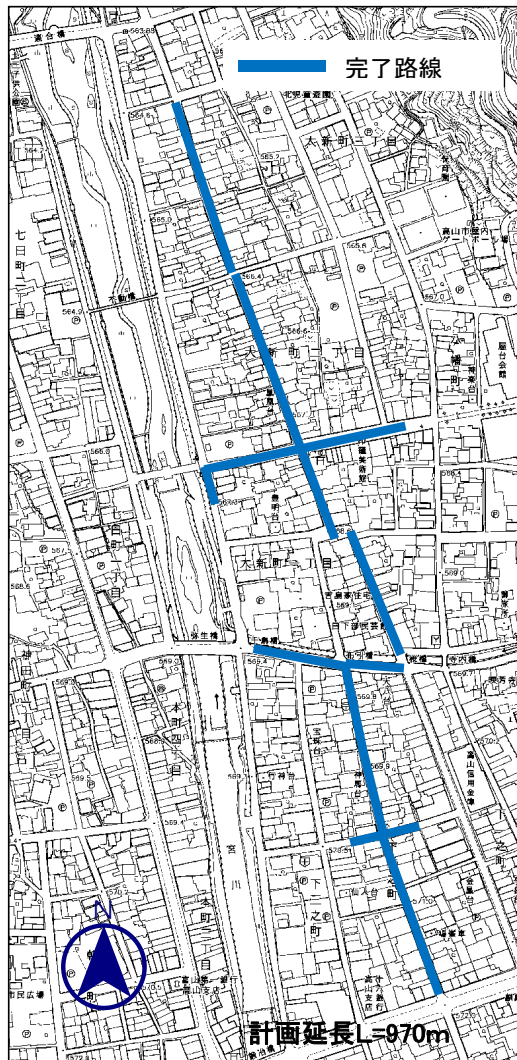
項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
町並み・景観保全事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和54年～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈道路事業の効果促進事業〉		
計画に記載している内容	高山の景観にふさわしい看板や生垣の設置に協力していただける民間(個人)に補助をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内で景観を阻害していた銀行の屋上看板について、市の指導や住民の要望を事業者が受け入れ撤去が行われることとなり、その撤去費について事業者への補助を行った。 生垣の設置については、重点区域内での補助申請はなかったが、重点区域外にて生垣の設置者への補助を行い、沿道における良好な景観の形成が図られた。 <input type="checkbox"/> 平成25年度実績 ・看板設置及び撤去補助:2件      ・生垣設置補助:4件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	高山の景観にふさわしい看板補助金について、近年の利用実績が少ないため、補助率や補助限度額の引き上げを行い啓発を図る。		
状況を示す写真や資料等			
○重点区域内で景観を阻害していた屋上看板の撤去状況			
撤去前		撤去後	
○重点区域外での生垣の設置状況			
			

評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
無電柱化事業Ⅰ			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	下二之町大新町伝統的建造物群保存地区内の市道千島松本線(一部)、上二之町大新町線(一部)、雁川原線(一部)、及び八幡大新町3号線において、電線等の地中化により電柱を撤去するとともに、側溝に石を使用し、伝統的な町並みに合った道路修景事業を電力事業者等と協力して実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
連系設備設置工事及び入線、抜柱工事を実施するとともに、伝統的な町並みに合った側溝修景工事、舗装修景工事を実施し、本事業がすべて完了した。下二之町大新町伝統的建造物群保存地区における良好な景観の形成が図られた。 <input type="checkbox"/> 無電柱化施工延長(計画期間累計) 実施済み970m/計画延長970m(100%完了)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業が順調に進捗したため、事業期間を平成25年度までとする。		

状況を示す写真や資料等

無電柱化整備箇所図



無電柱化に伴う景観の改善状況

整備前



整備後



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
屋台保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成2年～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高山祭の中心である屋台を保存する活動(屋台の管理、からくりの小修理・維持管理)を行う団体に対して補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高山祭の屋台を保存する活動を行う団体に対して補助を行ったことにより、屋台の管理やからくり技術の継承に寄与した。 <input type="checkbox"/> 平成25年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高山祭屋台管理費補助金 1件 (高山屋台保存会)</li> <li>・からくり屋台管理技術伝承保存補助金 1件 (高山屋台保存会)</li> <li>・高山祭屋台保存技術伝承保存補助金 1件 (高山・祭屋台保存技術協同組合)</li> </ul>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
春の高山祭(山王祭)での夜祭			
			
秋の高山祭(八幡祭)での屋台曳き揃え			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
伝承芸能保存事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成2年～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の住民が伝統行事の中で行っている伝承芸能、祭礼活動に対して補助金を支出し、その活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域の伝承芸能の保存団体に対して活動補助を行ったことにより、伝承芸能の継承に寄与した。 <input type="checkbox"/> 平成25年度実績 ・伝承芸能保存団体補助金:11件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭礼衣装や用具の更新には多額の経費を要する他、少子高齢化による担い手不足も大きな課題である。多様な課題に対応した補助制度などによる広範な支援が必要である。		

状況を示す写真や資料等

伝承芸能保存団体
高山市子供伝承芸能連合保存会
岩滝民踊保存会
飛騨総社親子獅子舞保存会
高山民謡保存会
下切町金蔵獅子保存会
飛騨東照宮おかめ舞獅子舞保存会
飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会
千島白山神社獅子舞保存会
錦山神社徳兵衛獅子保存会
新宮町伊勢神楽保存会
宗和流四常社



飛騨東照宮おかめ舞獅子舞保存会によるおかめ舞



錦山神社徳兵衛獅子保存会による獅子舞



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・活用

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 未指定文化財について残存状況の調査をし、文化財としての価値が見いだせるものについては、新規の指定を含めた今後の保護のあり方について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

甲冑等の遺物(32点)について、明治時代に国府町にあった亀塚古墳から出土した遺物として市指定有形文化財に新規指定した。

- 高山市指定有形文化財の指定件数 484件⇒485件
- 平成25年度新規指定
- 名称: 亀塚古墳出土品 (平成25年7月29日指定)
- 内容: 甲冑4点、武器類27点、鉄製蓋状器具1点

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

市内に数多く残る歴史的に価値のある建造物等について保護を推進するため、今後も新規の指定に向け積極的に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

甲冑



鉄剣(12点)



鉄刀(4点)



亀塚古墳出土品は、5世紀初頭ころに造られたものと考えられる。甲冑、肩甲、頸甲の武具のセットが出土した古墳は全国でも稀で、東海地方では静岡に2例のみである。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
	現在の状況	
文化財の修理 文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 指定等文化財については、適切な保存が図られるよう計画的に修理を実施する。  
 文化財指定建造物のほとんどが木造であり、また重要伝統的建造物群保存地区も木造家屋が連たんする町並みであることから、自主防災組織の機能強化やグループモニター型自動火災警装置の設置、防火帯としての土蔵の修理等に対し支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財や重要伝統的建造物群保存地区内の建造物について計画的に修復や修理を実施することで、適切な保存を図ることができた。重要伝統的建造物群保存地区における消火栓の設置や防火帯としての役割を担っている土蔵の修理を実施することで、防火対策の向上を図ることができた。

□平成25年度実績

- 指定文化財の保存修理事業 4件  
 (国指定:安国寺経蔵防災設備改修工事)  
 (県指定:西光寺枝垂れザクラ保護処置、荏野文庫土蔵修理)(市指定:水無神社絵馬殿修理)
- 高山祭屋台保存修理事業 7件(屋台6台、屋台蔵1件)
- 重要伝統的建造物群保存地区内の住宅修理に対する補助 10件  
 (修理6件、修景4件)
- 重要伝統的建造物群保存地区防災対策事業
  - ・消火栓設置工事 2件
  - ・グループ監視型自動火災警報器設置に対する補助 1件
  - ・土蔵の修理に対する補助 2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

町家保存整備に関し、継続的に住み続けられるための町家修理基準の作成や、建築基準法による重要伝統的建造物群保存地区における建築制限の緩和条例の制定を推進する必要があるため、今後も調査や研究を進めていく。

状況を示す写真や資料等



安国寺経蔵防災設備改修工事

重要伝統的建造物群保存地区内の住宅修景に対する補助

修理前



修理後



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
----	--------	--------

文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	--	---

計画に記載している内容 旧矢嶋邸等整備事業により、地域に残る歴史的価値の高い建造物を活かして、文化財等の展示施設として整備する。周辺景観との調和を図るとともに、多くの人々が身近に歴史的風致を感じることができるように配慮しながら適正な管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

飛騨高山まちの博物館において、指定文化財や歴史民俗資料の保存及び展示を適正に行っている。特別展を年間5回開催し、思考を凝らした展示で多くの来館者に高山の歴史や文化にふれる機会を提供した。また、飛騨地域の職人が制作した伝統工芸品を集めた展示会なども実施し、地域と共同で取り組むことで住民の意識の高揚にもつながっている。  
 ○飛騨高山まちの博物館利用者数 24年度(184,315人) 25年度(183,304人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致の拠点施設として更なる充実を目指すため、飛騨高山まちの博物館に近接する旧図書館敷地及び空家を活用して伝統文化伝承に関する拠点施設の整備を行い、「学び」を主体とするまちの博物館を「体感」を主体とする場によって補完する。
--	---

状況を示す写真や資料等

平成25年度 飛騨高山まちの博物館 特別展実績

- 春期特別展「まち博 春の特別展 ～木と人のかかわり～」  
 高山の歴史・文化で人々が木を知り、活かしてきた姿を紹介  
 開催期間:3月23日～5月12日  
 来館者数:35,244人
- 夏期特別展「まち博 夏の特別展 ～高山☆カワイイ展～」  
 高山の歴史や観光の中にある「かわいい」をテーマに展示  
 開催期間:7月13日～8月25日  
 来館者数:29,986人
- 中国水墨画展  
 中国出身の水墨画家王子江氏の特別展覧会  
 開催期間:8月31日～9月16日  
 来館者数:10,231人
- 秋期特別展「飛騨国いまむかし ～国絵図の世界～」  
 飛騨国絵図」掲載の絵図を中心に、飛騨国の時代の変遷を紹介  
 開催期間:10月5日～11月24日  
 来館者数:30,004人
- 新蔵資料展「市民からのおくりもの」  
 近年、寄付いただいた郷土の歴史資料を紹介  
 開催期間:12月14日～2月9日  
 来館者数:17,748人



秋期特別展のチラシ

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
		現在の状況

文化財の保存及び活用の普及啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

計画に記載している内容 文化財に関する講座の開催や出前講座の開催等、文化財の保存及び活用に関する普及啓発を、様々な機会を使って実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市史編纂員を講師とした「高山歴史講座」を年間4回開催し、延べ295人の参加があった。
- ・市職員を講師とした市内各地域における出前講座「ふるさと歴史 地域シリーズ」を年間4回開催し、延べ54人の参加があった。
- ・風土記の丘史跡公園の20周年記念事業として、歴史講座を年間2回開催し、延べ130人の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	将来の人材育成に繋がるよう、学校等と連携した郷土学習プログラムの作成・実施を更に推進していく必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

平成25年度 高山歴史講座

開催日	テーマ	参加人数
10月5日	金森と幕領時代の地図を比較「街道と集落は」	95
10月14日	伊能忠敬の夢と冒険を飛騨測量に見る	80
10月23日	飛騨国から信奉の道へ	70
11月13日	飛騨人は道路、軌道に賭け続けた。その歩みは	50



高山歴史講座  
平成25年10月23日

平成25年度 ふるさと歴史 地域シリーズ講座

地域	開催日	テーマ	参加人数
高山	6月29日	まちの宝物を考えようinまち博	35
国府	6月30日	まちの宝物を考えようin国府	9
清見	7月6日	まちの宝物を考えようin清見	4
久々野	11月6日	まちの宝物を考えようin久々野	6



ふるさと歴史 地域シリーズ講座(久々野地域)  
平成25年11月6日

風土記の丘史跡公園20周年記念事業

開催日	テーマ	参加人数
6月29日	地域にまつわる歴史講座 講師:市史編纂員 田中 彰	80
11月24日	赤保木瓦窯跡と国府亀塚古墳甲冑について 講師:飛騨高山まちの博物館名誉館長 八賀 晋	50

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体①		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 町並み保存団体、屋台組をはじめとする文化財を保存・活用する各種団体については、活動への助成、情報提供、研修等を通じて組織の維持と活性化を支援していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観町並保存会や高山祭の屋台を保存する団体、地域の伝承芸能や文化財の保存団体に対して活動補助を行った。

- 平成25年度活動補助金交付内訳
- ・景観町並保存会に対する補助金 20団体
- ・高山祭屋台保存に関する補助金 2団体
- ・伝承芸能保存団体に対する補助金 11団体
- ・指定文化財保存会に対する補助金 2団体
- ・史跡保存会に対する補助金 12団体

ふるさとの有形無形の伝統文化や文化財の保存活用又は美しい景観の保全などを目的に、3年以上活動している団体や個人を公募し、市長が認証する「美しいふるさと認証制度」を創設した。今年度52団体を認証し、11月1日(市制記念日)に、高山市表彰式において認定章を授与した。今後もその活動を高山市広報やHPなどで幅広くPRする。地元の伝統文化を守り続けている人たちにスポットを当て、公的に認めることで励みとなり、活動が活発になることをねらいとしている。

- 平成25年度美しいふるさと認証者内訳
- ・史跡保存 4団体
- ・民俗文化保存 21団体
- ・屋台保存 16団体
- ・屋台修理技術保存 1団体
- ・町並保存 7団体
- ・伝統文化啓発 1団体
- ・景観保存 2団体

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重要伝統的建造物群保存地区と市街地景観保存地区の周辺地区に関しては、景観町並保存会が組織されていないため、当該団体の組織化を推進する。

状況を示す写真や資料等

活動補助金交付団体一覧

<b>景観町並保存会</b> 東山景観保存会 神明町景観保存会 上二之町町並保存会 恵比須台組町並保存会 上三之町町並保存会 豊明台組町並保存会 上一之町上町並保存会 寺内景観保存会 上三之町中組景観保存会 片原町町並保存会 鳩峯車組町並保存会 神馬台組町並保存会 船鉾台組町並保存会 越中街道町並保存会 浦島台組町並保存会 大新町1丁目3班町並保存会 上三之町上組景観保存会 宝珠台組景観保存会 八幡町景観保存会 上一之町大町会景観保存会	<b>高山祭屋台保存に関する団体</b> 高山屋台保存会 高山・祭屋台保存技術協同組合	<b>指定文化財保存会</b> 車田保存会 江名子バンドリ保存会
	<b>伝承芸能保存団体</b> 高山市子供伝承芸能連合保存会 岩滝民踊保存会 飛騨総社親子獅子舞保存会 高山民謡保存会 下切町金蔵獅子保存会 飛騨東照宮おかめ舞獅子舞保存会 飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会 千島白山神社獅子舞保存会 錦山神社徳兵衛獅子保存会 新宮町伊勢神楽保存会 宗和流四常社	<b>史跡保存会</b> 赤保木史跡保存会 荏名古史跡保存会 鍋山城史跡保存会 上切町史跡保存会 三福寺文化遺産保存会 新宮史跡・文化財保存委員会 松之木町文化遺産保存委員会 山口史跡保存会 瀧覚坊史跡保存会 飯山寺保存会 上江名子史跡保存会 松本史跡保存会

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO等各種団体②

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 町並み保存団体、屋台組をはじめとする文化財を保存・活用する各種団体については、活動への助成、情報提供、研修等を通じて組織の維持と活性化を支援していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観町並み保存連合会において、市の支援により3つの専門部会が設置され、これまで各保存会がそれぞれに行ってきた保存活動や諸問題対策について、連携して取り組むこととなった。町並み保存に対する住民の参画意識の高まりが、活動の活発化につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【高山市景観町並み保存連合会専門部会】

○町並み保存部会

町並み保存のルール作りや市に対する要望を行う。

○広報部会

各保存会の取り組み、高山の町並みの素晴らしさを、市内外に広く発信する。

(下記の写真は広報誌創刊号の表紙。20の保存会や各施設等に配付しているほか、ホームページにも掲載している。年4回の発刊予定)

○子ども伝承部会

子ども達とともに郷土の歴史を学び、次世代にも町並み保存に関心を持ってもらえるような事業を進める。

(下記の写真は、地域の小学生児童を対象に、景観町並み保存の大切さを知ってもらうため、市内各所をめぐり、ご朱印帳にスタンプを押してもらった様子)

広報部会が制作した広報誌(創刊号)



子ども伝承部会の活動風景



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	平成25年度 掲載紙等
まちの宝知って古里愛して 小中学生ら 調べ研究	平成25年7月2日	中日新聞
高山・亀塚古墳出土の甲冑など市有形文化財に32点	平成25年8月6日	中日新聞
景観重視へ地域一体 NTTの鉄塔と十六銀行の看板撤去決定	平成25年8月28日	中日新聞
ふるさと認証制度公募 高山市「伝統守る人の励みに」	平成25年8月30日	中日新聞
「金鳳台」お披露目 高山祭前に3年越し大修理終え	平成25年9月15日	中日新聞
歴史的景観保護へ議論 高山 全国38市町村協議会が総会	平成25年10月30日	岐阜新聞
飛騨の伝統工芸技術の粋集める 高山で展示会	平成25年11月5日	中日新聞
入館者を袂と着物でお出迎え まち博が50万人突破を記念し	平成25年11月11日	高山市民時報
春慶塗や陶磁器… 児童ら伝統工芸品学ぶ	平成25年11月22日	中日新聞
電柱など撤去し景観すっきり 下二之町大新町伝建地区で地中化	平成25年12月18日	高山市民時報
古い町並みそっくりのコンビニ	平成26年3月12日	中日新聞
町に溶け込む新交番 高山観光の“安心”任せて	平成26年3月26日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【主な報道内容】秋の高山祭(八幡祭)の屋台の一つである「金鳳台」が大規模な修理を終えた。3年前から高山・祭屋台保存技術協同組合や京都の職人が修理を手掛け、6300万円の修理費用のうち9割を国や市が補助した。金鳳台の屋台組は8軒だけであり、後継者不足に悩む屋台組も少なくない中、自分たちの誇りである屋台を大切に守り続ける姿が報道の要因となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



秋の高山祭を前に3年越しの大規模な修理を終え、お披露目された「金鳳台」



市内の児童を対象に、春慶塗や陶磁器など飛騨地域の伝統工芸品を学ぶ「もの作り教室」が開催された



古い町並みの景観に配慮したコンビニがオープン 黒い格子や屋根付きの木目調の看板は全国初



リニューアルした高山警察署安川交番 古い町並みの景観に配慮し、蔵をイメージした外観へ

項目

一般開放型便所改修事業

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

文化財や歴史的な建造物等を繋ぐ周遊ルートの利用者が安心して散歩することができることを目的として、既存の便所を一般開放型便所として改修する工事にに対し補助金を交付した。改修にあたっては、通行者が自由に利用できるとともに、高山の景観にふさわしくバリアフリーに配慮したものとし、周遊ルート利用者の利便性に寄与した。

□平成25年度実績

- ・一般開放型便所改修事業補助 2件(大隆寺便所、桜山八幡宮便所)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

大隆寺便所改修位置図



高山市の景観やバリアフリーに  
配慮した大隆寺便所



外観



便所内部



案内板



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 高山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成26年2月28日	
(コメントの概要)	
<p>地元保存会の長年の努力や事業者の理解により、通信施設の鉄塔や銀行看板の撤去が実施され、着実に歴史的風致の維持向上が進んだ。</p> <p>無電柱化事業が計画区域において完了し、歴史的景観の魅力が大きく向上した。</p> <p>文化財の修理等について、継続的な取り組みが計画的に行われており評価できる。より一層、文化財保護に努めていただきたい。</p> <p>飛騨高山まち博物館での特別展や市民講座の実施など、積極的な活用が図られており、文化財の保存及び活用の普及啓発において着実に成果を上げている。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>古い町並みや市街地における屋外広告物の掲出基準を見直しを図り、良好な景観の一層の向上に努めていく。</p> <p>文化財の修理を今後も計画的に実施するとともに、良好な景観を残している建造物を景観重要建造物に指定し、その修理に要する費用の助成を行うことで、歴史的な町並み景観の保存を図っていく。</p> <p>歴史的風致の拠点施設としての更なる充実を目指して、飛騨高山まちの博物館に近接する旧図書館敷地及び空家を活用した伝統文化伝承に関する拠点施設の整備を行い、「学び」を主体とするまちの博物館を「体感」を主体とする場によって補完する。</p>	